

研究課題名 倫理委員会承認 No.2019-4	高齢患者への栄養サポートチーム介入条件における血清アルブミン値の妥当性の検討
研究対象	2016年1月1日から2018年12月31日の間に南大阪病院の一般病棟に28日以上入院した65歳以上の方。
研究の目的	<p> 栄養状態が低下している患者さんに対し、医師や管理栄養士、看護師、薬剤師などの多職種からなる栄養サポートチーム（NST）が介入することで、最良の栄養療法を提供しています。 </p> <p> NSTが介入する患者さんの条件は地域や施設の特性により異なりますが、多くの病院が採用している条件の一つに「血清アルブミン値（Alb）が3.0g/dL以下」があります。一般的には3.5g/dL未満の場合は低Alb血症とされていますが、Albは加齢に伴って低下します。したがって、入院患者の約70%が65歳以上の高齢者である当院では、NST介入条件を「Alb 2.7 g/dL以下」と他院と比べて低く設定しています。そこで、Alb 2.8-3.0 g/dLであった方（他院ではNSTが介入していた可能性が高い方）と、Alb 3.1-3.4 g/dLであった方（他院でもNSTが介入していなかった可能性が高い方）の、入院中の治療を妨げる要因や治療が成功する要因に関する項目を比較し、「Alb 2.7 g/dL以下」という当院のNST介入条件が妥当かどうかを検討することを目的としています。 </p>
研究の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究デザイン：後ろ向き観察研究 2. 2016年1月1日から2018年12月31日の間に一般病棟に28日以上入院した65歳以上の患者さんの、入院してから14日時点でのAlbの値により「重度栄養不良群」、「中等度栄養不良群」、「軽度栄養不良群」に分類し、入院中の栄養状態・栄養摂取状況の変化やイベント発生率、一般病棟在院日数などを比較します。
研究の期間	2016年1月から2021年3月31日まで。
研究に用いる試料・情報	血液検査データ、身体所見等
外部への情報提供	個人情報については、記号・番号化などで匿名化します。すべてのデータは当院栄養科で責任をもって管理します。医学雑誌や学会発表に公表される時も、個人を特定されることはありません。
研究組織	社会医療法人景岳会南大阪病院
<p> 本研究は、電子カルテよりデータを転記し、個人情報も管理するので身体的・精神的影響を与えることはなく、不利益並びに危険性はありません。 </p> <p> 本研究に協力することによって患者さんに通常診療以上の負担をおかけするものではありません。 </p> <p> なお、今回の研究に協力しないことによって、当院の診断・治療において不利益を被ることはありません。 </p>	
<p> 【問い合わせ先】 社会医療法人景岳会 南大阪病院 診療支援部 栄養科 大出 佑美 〒559-0012 大阪市住之江区東加賀屋1-18-18 TEL： 06-6685-0221(代) </p>	